

大念佛

No.79
発行／融通念佛宗
総本山 大念佛寺
大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026

題字：融通念佛宗 管長 倍巖良舜

俱会一処

融通念佛宗務総長 田中瑞修



「俱会一処」、この言葉に耳にされ、目にされた方は多数おいでのことと思います。この句は私達が日頃唱える『阿弥陀経』という経の中に示されている御文です。目にされた方は経の中ではなく、お墓に参られた時にご覧になったのではないのでしょうか。

「先立たれても極楽浄土で必ず待つていてください。来世も一緒に暮らしましょう」との思いのこもった一句であります。この碑を目にする時、この家の方々は仲睦まじく暖かな思いあふれる家庭だと推察され、ほのぼのとした心に

させられます。

先日、故大橋巨泉さんの奥様がテレビに出演されていました。巨泉さんの好物を数々お供えされた仏壇の前に座り、亡き夫の想い出話をなさる中で、

「主人は先に浄土へまいました。私が、必ず蓮華の花弁の半座をあけて私を待つてくれております。私は蓮の台で主人と再会することを楽しみにして、毎日供養をしております」と述べておられました。

先立たば

送る人待ちやせん

蓮の弁のなかば残して

この句を思い出し、なんと幸せな夫婦だったのか、現世も極楽、来世も極楽の姿がそこにあると感じ入りました。

こんな思いをしたしばらく後、このようなお葬式がありました。火葬が終わわり、お骨をもって帰ってこられたのですが本骨（喉仏）のみでございました。不思議に思い、「お墓に納めるお骨はどうされたのですか」と聞きますと、「お墓にはお骨は納めません」とおっしゃっていました。「なぜですか」と問いかけますと、「母の遺言で『父と同じ墓には入りたくないからお寺で供養して頂くお骨だけでいい』と言っており、母はいつも『一度しかない人生、なんでこんな思いで暮らしていかなければならぬのか』と嘆いておりました。そんな事で母の思いや願いのように致しました」とおっしゃっていました。

両成敗、相手方が全て悪いのではない。自分を指さし見つめ直す時、必ず因となるものが自分自身の中にもあることを気づくのではないのでしょうか。

坂村真民の詩に

手を合わすれば
憎む心もとけてゆき
離れた心も結ばれる
まるいおむすび まるいもち
両手を合わせて作ったものは
人の心をまるくする
両手を合わせて拝んでゆこう

と詩っておられます。相手を指さすばかりでなく、手を合わせ自分を見つめなおすことにより、夫婦

万部おねりをふりかえつて

融通念佛宗教学部長 濱田全眞

五月一日の初日に特別のイベントであるMBSラジオの「明るく楽しい大念佛寺」の公開収録が行われた。般若心経を愛する笑い飯の哲夫さんを中心に、アシスタントに山本量子さん、ゲストに若手女性芸人を招いての収録となった。

「笑い飯哲夫の仏教講座」、布教師会会長による万部おねりに登場する観世音菩薩の解説や幽霊絵巻の紹介、そして若手女性芸人の悩みを聞く「煩惱駆け込み寺」のコーナーなど、盛りだくさんの内容で進行された。

その他、蓮風による「和太鼓奉納」。融通声明研究会による「融通声明コンサート」ではウクライナ民族楽器バンドウーラの演奏者カテリーナさんと共演。東安堵大寶寺六齋講と八島町六齋念仏鉦

の和合が築けたのではないでしょう。来世の姿は現世にあり、今日一日の仕合わせが来世の仕合わせを約束するのです。

お盆を迎え、ご先祖様の供養をする大切な時であります。帰ってこられる精霊様に喜んでいただければ何が一番でしょうか。数々のお供え物をして迎えするのも大切なことではありますが、家族仲良く、仕合わせな姿でこやかにご先祖様をお迎えすることが一番喜んでいただく供養ではないでしょうか。

お盆の節、今一度「俱会一処」の言葉をかみしめたものであります。

合掌

最終日には平野五流講による「世界平和祈願護摩供養」が行われ、大いに盛り上がった万部おねりであった。





融通念佛宗布教師 徳田 泰秀

今年もまた「おぼん」が近づいてきました。

お盆とは正しくは盂蘭盆といい、サンスクリット語の「ウランバナ」を中国語に音訳されたものです。

これは「倒懸」と訳され、逆さ吊りの苦しみという意味です。地獄に落ちて、逆さまに吊り下げられたような苦しみを受けている亡者に飲食をお供えして、その苦しみを救おうとするインド古来からの仏教の行事です。

この盂蘭盆の典拠とされる『仏説盂蘭盆経』に、このような物語が説かれています。

お釈迦さまの十大弟子の一人の神通力第一と称された目連尊者と亡き母との悲しい物語です。ある日のこと、目連尊者は父母の恩に報いようと思つて神通力をもってみますと、亡き母は餓鬼道に堕ちて、全身が骨と皮になって、みるからに哀れな姿になっておられたのです。嘆き悲しみのあまり、お釈迦さまに救いを求めた目連尊者に、つぎのように説かれたのです。

「目連よ、あなたの母の業障はあまりにも深く、あなた一人の功德力ではどうすることもできない。しかし、七月十五日の僧の自恣の日（自らの犯した罪を告白して、総懺悔して、許しを乞う日）に、百味飲食五菜をお供えして、大勢

の僧に供養するならば、その功德によって、過去七世の父母、現在の父母をはじめ、餓鬼道に堕ち苦しむ人々は、その苦しみから救われるであろう」と示されました。そして、目連尊者はその教え通りにしたところ、母を救うことが出来たのです。

自分が持っているもので満足できないのが餓鬼です。いつの世でも、母親ならばわが子の幸せを願うあまり知らず知らずの間に、他人の子よりも自分の子どもを先に、また、自分の子どもが幸せでも、もっと、もっとと貪ろうとします。仏教ではこのような愛情を「貪愛」といつて迷いのこころの一つとされています。でも、子どもはそれでいいのでしょうか。子どもへの愛が深い故に母親は罪を犯してしまう。産んでくれた、育ててくれた親に大きな罪をつくらせてしまった子どもは、それで済ませられるでしょうか。目連尊者もそれに耐えられなかったからこそ、お釈迦さまにお頼りなされたのではないのでしょうか。

この『仏説盂蘭盆経』の教えは、孝養を重んじる中国で尊ばれて、日本でも仏教伝来後、まもなく宮中行事として行われ、日本古来の祖先崇拜の思想と結びつき、単に先祖の苦しみを救うという意味にとどまらず、「霊祭り」「精霊祭り」となっていくたのです。さだまさしさんの歌にもある長崎の「精霊流し」や京都五山の「送り火」などはその代表的な一つでしょう。また、全国各地で催されている盆踊りは目連尊者の母が餓鬼道の苦しみを逃れ、天上界に昇ったことを知った人々が大いに喜び、思わず歓喜のおどりを踊ったこと由来すると伝えられています。

ここで忘れてならないことは、目連尊者ほどの立派な人のお母さんが、なぜ餓鬼道に堕ちたのでしょうかということ。それは、母親として、わが子の喜びのために分別を忘れ、他の子が泣くのがわからなくなってしまう自己中心的な母親だったからだというこ



菩薩画奉納法要

谷守画伯は平成十八年より万部おねりの二十五菩薩と地藏菩薩を描いてこられました。今まで奉納された菩薩画はすべて本堂内に掲げられています。今回は最後の四菩薩（薬王菩薩、華嚴王菩薩、大自在王菩薩、日照王菩薩）が完成し、奉納法要では谷画伯をはじめ多くの関係者が参拝し、菩薩画の前で順次焼香されました。その時の谷画伯からは達成感と安堵感が感じられました。



谷守 略歴
 広告代理店 株式会社大電（現株式会社アド電通大阪）宣伝部長、なんばデザイナー学院教授、郵政省貯金局広告宣伝専門講師、大阪府立夕陽丘女子高等職業訓練校（現大阪府立夕陽丘高等職業技術専門学校）デザイナー講師、大阪市立デザイン教育研究所教授、等歴任。
 現在は、愛染齋顧問デザイナー（愛染まつりポスター、郵便切手等制作）。社会福祉法人大念佛寺社会事業団評議員。
 菩薩絵を制作し、融通念佛宗本山大念佛寺へ奉納。



道和人 四百回忌法要

五月十一日、倍巖良舜院下の導師のもと大念佛寺第三十六世良說道和人の四百回忌法要が厳修されました。

道和人は本宗の一大行事である「御回在」を始められた上人です。

慶長十九年（一六一四）大坂冬の陣、翌夏の陣において徳川家康公が大念佛寺を訪れた際、道和人は国家安泰を祈願し、国を治めるための指針を家康公に教示さ

れました。

戦いが終わって再び大念佛寺を訪れた家康公は、田畑三百石の寄進を申し出ましたが、高潔な道和人はそれを辞退され、かわりに御本尊「十一尊天得如来」を奉持して融通念佛を弘める許しを得られたのです。これが今日の「本尊御回在」となりました。

また道和人は「幽霊の片袖」縁起にまつわる亡女を供養したことも知られています。当日は近隣だけでなく、遠く大和からも多くの末寺住職が道和人の御徳を偲んで参拝されました。



六齋念仏とは法会や葬送の際、講中が集まり「南無阿弥陀仏」の名号を鉦、太鼓に合わせてリズムカルに唱える念仏で、全国的に分布し、「ばんどう」「はくまい」「四遍」「しんころ」「新ばんどう」「惣おろし」等十曲近くのレパートリーがある。



万部おねりでの八島町六齋念仏奉納



八島町涅槃会



八島町
六齋念仏
(奈良県指定無形民俗文化財)

JR帯解駅から東へ約二キロ、早良親王を祀った崇道天皇陵の北側に、奈良市八島町のおだやかな集落がある。鉦講員によって、融通念仏の流れをくむ六齋念仏が伝えられている。

八島町には鉦念仏に「ばんどう」「白米」「四遍」の三曲。太鼓念仏には和讃形式(歌よみ)による「念仏行者」「地獄地獄」「賽の河原」の三曲が伝わり、太鼓念仏は、主として盆に鉦を伴奏として唱えられる。

六齋念仏は民俗信仰とむすびつき、一面芸能化し、念仏形態にもずいぶん独創的な解釈が加えられていった。八島町では「きょうはばんどうと白米二齋でいこか」「盆は村中回るので太鼓念仏一齋ずつや」など齋を曲目の数え方として用いられている。六齋念仏の齋には前述した曲目の数え方とするほか「お齋」すなわち法会の際の食事とも解される。八島の六齋念仏には盆にも涅槃会にもかならずお齋が付く。念仏とお齋は一体をなすごとく、まさに民俗的念仏の面目というほかはない。

(奈良新聞 平成十七年四月一日付 阿波谷俊宏師の記事より抜粋)

東安堵大寶寺の
六齋念仏
(奈良県指定無形民俗文化財)

奈良盆地の中央部に位置する安堵町東安堵の融通念佛宗大寶寺の檀家で組織されている念仏講である。県下において多くの念仏講が消滅していく中で、今もなお在家信者が結集し講を組織して、唱える「歌う念仏」を継承し、講の歴史は三百年を超えている。

講の活動は、農繁期の六、十月を除いて毎月第三土曜日を基本に、大寶寺において行っている。このときは「三界萬霊平等利益」の文字の周囲に、先亡の講員の戒名などを書き込んだ軸を掲げ、これら



◎講勘定(八月十五日)

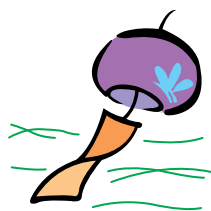
講勘定(お布施開き)の後、お布施をお供えて「三界萬霊平等利益」の掛軸に向かってお念仏を唱える。(例年は大寶寺蔵に収納の「三尊来迎図」の掛軸をお掛けしている。)



(掛軸の上部には、大寶寺六齋念仏中興の祖と伝えられる長治郎の法衣が描かれている。)

史を残すものとして長治郎(法屋融西禅定門)という人物が中興の祖と伝えられ、今年年間行事の中にその名をとどめていることである。先の三界萬霊平等利益の掛軸に法衣姿の長治郎が上部に描かれ、正徳三年(一七一三)以降の忌日の記入がある。また所持する鉦には享保十五年(一七三〇)ものが一点みられる。

編集委員 藪本 正啓



青年会だより

ぼさつさまぬりえ展示報告

田中総長より青年僧へ向けて

融通念佛宗青年会 辻 良和

すっかり恒例となりました「ぼさつさまぬりえ」、今年も万部おねり中、展示場となりました休憩所の壁一面にずらりと並びました。今回で第十一回目となりましたが、四方に並ぶ千駄を超える色とりどりのぼさつさまは毎年ながら見とれてしまいます。お越し頂いた方の中には「昨年書いた願いが叶ったから今年もまた書いたよ」、「子供が毎年楽しみにしています」といったうれしいお声も頂きました。法要後には「おねがいごと」の一つが叶うようにと祈願成就のお勤めを致しました。来年も多数のご参加をお待ちしております。



又、青年会主催の年に数回、会員並びに末寺住職に向けて開催しております講習会に、昨春秋に就任された田中瑞修宗務総長をお招き致しました。そこで「次代を担う青年僧へ」と題しまして、我々若手僧侶に向けての熱いメッセージを頂きました。まずは僧侶の基本である「一掃除、二勤行、三学問」の三つを精進すること。そして昨今、特に宗教離れが激しい世間にしつかり目を向け、危機感を持ち、伝灯、法灯を守ることに。又、現状に満足せずカラを破り一歩踏み出すこと。これらの言葉の意味を我々は深く考え、今やるべきこと、これからやらなければならぬこと、を模索していかねばなりません。そして融通念佛宗を河内、大和だけでなく、各地へ広げていこうという田中総長の思いを引き継ぎ、実行させていくのも我々青年僧の今後の課題です。どうぞ今後共、ご支援ご協力よろしくお願い致します。



震災物故者追悼法要と落語会

十月四日(水)午後二時より、大念佛寺本堂において河内西国霊場会主催で震災物故者の追悼と慰霊の法要が行われ、その後、露の団姫の極楽寄席があります。

河内西国霊場は庶民の巡礼として親しまれる観音霊場で、信貴生

駒山系に沿って点在する一番から三十三番までの寺院と四つの特別客番寺院からなります。大念佛寺はその特別客番のひとつです。

当日はなるべく公共交通機関をご利用下さい。多くの方が参拝されることを願っています。

小径

夏が来れば思い出す、子供の頃の小さな動物との出会い。友達と泥まみれになりながら捕まえたセミ、蝶、トンボ、カエル、トカゲ。食べたスイカや桃の種を植え、近所の方からスズムシやカブトムシもいただいた。夜店でゲットした金魚、ミドリガメ、ヒヨコ。

育て方を調べてしばらく飼育観察。幼虫から育てて無事に成虫になった時の感動は今でも覚えている。また逆に残念ながら死んでしまうことも多く、泣きながら庭の片隅に埋め、そこにアイスの棒をさしたり小石を

乗せたりしたお墓に手を合わせた。今となつては少々かわいそうなことをしてしまつたと思うが、その時は自分の手で小さな生き物を愛でたい気持ちの方が大きかったのだろう。今年の夏も好奇心旺盛な少年少女達が動物との出会いや別れを経験することだろう。その中で、飼うことの責任や命の大事さを是非とも学んで欲しい。また、それに関わる大人のみならず、事の顛末を容易に想像できるかもしれないが、目を輝かせた彼らの気持ちを受け止めてあげて欲しい。

正教

大念佛寺 年中行事ご案内(八月～年末)

- ◎八月十六日(水) 午後七時 盂蘭盆・法界大施餓鬼
- ◎八月十六日(水) 午後八時 万灯会
- ◎九月三日(日) 午前六時 半齋勤行 午前七時 大和御回在御出光
- ◎九月十六日(土) 午前十一時 融通念仏会
- ◎九月十六日(土) 午後一時 百万遍会(大数珠繰り)
- ◎十月十五日(日) 午前十時 亀鉦まつり
- ◎十一月三日(金・祝) 午前十一時・午後二時 胎内仏納骨法要
- ◎十一月十四日(火) 午後一時 十夜会
- ◎十二月一日(金) 午前十一時 後小松天皇忌
- ◎十二月十九日(火) 午後一時 大和御回在御帰院
- ◎十二月三十一日(日) 午後十一時 除夜法要
- ◎毎月二十六日 (日曜日の場合は翌日になります) 午後一時三十分 定例布教
- ◆行事予定は変更する場合があります。
- ★写経のご案内 毎月二十六日、午前九時三十分より午後三時まで、白雲閣にて写経(二巻千円)を行っております。
- ★納骨のご案内 本堂に於いて、午前九時三十分より午後四時まで年中無休で宗派は問わず納骨を受け付けております。尚、納骨の際は、事前にお問い合わせ下さい。
- ★瓦勧進のご案内 一口二千円で本堂に於いて受け付けております。
- お問い合わせ 大念佛寺宗務所 ☎〇六―六七九―〇〇二六

暑中御伺

融通念佛宗 総本山 大念佛寺

法主	倍巖 良舜
管長	田中 瑞修
宗務総長	濱田 全眞
教学部長	佐々木智祥
庶務部長	篠塚 章臣
財務部長	